NAME

JISC – JIS-0208 manipulation functions and macros

SYNOPSIS

```
#include <geta/iso2022jp2.h>
#include <geta/jis.h>

void
jtoec(int *hp, int *lp)

void
jtosc(int *hp, int *lp)

void
etojc(int *hp, int *lp)

void
stojc(int *hp, int *lp)

int
htozc(int c, int *hp, int *lp)

int
ztohc(int h, int l, int *c)

void
htojc(char *p, char **e, int *hp, int *lp)
```

DESCRIPTION

jtoec は, *hp* と *lp* が指す場所にそれぞれ第1バイト, 第2バイトが格納されている JIS コードの文字を EUC コードに変換し, その第1バイトと第2バイトをそれぞれ *hp* と *lp* が指す場所に格納する.

jtosc, **etojc**, **stojc** はそれぞれ JIS コードから S-JIS へ, EUC コードから JIS コードへ, S-JIS から JIS コードへの変換である点以外は **jtoec** と同じである.

htozc は ASCII 文字 *c* を対応する JIS コードに変換し, 第1バイトと第2バイトをそれぞれ *hp* と *lp* が指す場所に格納し, 0 を返す. **htozc** は, 文字 *c* に対応する JIS コードが存在しない場合は –1 を返す.

ztohc は第1バイトと第2バイトがそれぞれ *h* と *l* で示される JIS コードの文字を対応する ASCII 文字に変換し, *c* が指す場所に格納し, 0 を返す. 対応する ASCII 文字が存在しない場合は, **ztohc** は –1 を返す.

htojc は, *p* で示される場所に格納されている JIS-0201-kana の文字列の先頭の文字を対応する JIS コード文字に変換し, その第1バイトと第2バイトをそれぞれ *hp* と *lp* が指す場所に格納し, さらに変換された文字の次の文字を指すポインタを *e* が指す場所に格納する. (濁点や半濁点があると **htojc** は *p* から2バイト消費することに注意.)

BUGS

これらの変換ルーチンはコードの正当性をチェックしないので, 必要に応じてユーザは isvalid-jis(3) を使ってチェックを行わなければならない.

SEE ALSO

iso2022jp2(3), jiss(3), isvalidjis(3)